2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社ＣＧＳホールディングス　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　6633　　URL　https://www.cgshd.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　塩田　聖一
問合せ先責任者　（役職名）　取締役管理統括部長　（氏名）　小島　利幸　　(TEL) 093(642)4511

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,577	31.3	203	△34.3	263	△26.0	104	△56.8
2025年12月期第３四半期	3,486	24.4	309	184.5	355	127.8	242	160.2

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　　154百万円(△34.5%)　2025年12月期第３四半期　　235百万円(　63.7%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	11.00	―
2025年12月期第３四半期	25.48	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	7,332	3,553	45.7
2025年12月期	7,162	3,558	46.9

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　3,349百万円　　2025年12月期　3,362百万円

(注)2026年12月期第３四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	10.00	10.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,551	31.5	442	28.9	485	25.0	214	△18.7	22.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　―　社（社名）　　、除外　―　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	9,801,549株	2025年12月期	9,801,549株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	300,182株	2025年12月期	300,182株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	9,501,367株	2025年12月期３Ｑ	9,501,367株

※　当社は、取締役（社外取締役および監査等委員である取締役を除く）を対象とする株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（企業結合等関係） …… 10
（収益認識関係） …… 10
（追加情報） …… 10

１．経営成績等の概況

当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度との比較分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

［当第３四半期連結累計期間の経営成績］

当第３四半期連結累計期間における日本経済は、所得・雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、原材料・エネルギー価格の高止まりに伴う物価上昇や円安基調の継続が個人消費の下押し要因となったほか、中東情勢をはじめとする地政学リスク等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方で当社製品需要との関係が深い金型関連業界は、設備投資の先行指標となる工作機械受注統計によれば、内需・外需ともに前年同期実績を上回る状況で推移、AI（人工知能）や半導体関連等、幅広い分野で受注を積み上げ、９月単月の受注額としては過去最高を更新しました。

このような状況下、当社グループにおけるCAD/CAMシステム等事業では、主な利用先である自動車向け金型・部品製造業において、中東情勢を起因とする石化由来原料の価格上昇や大手自動車メーカーのEV（電気自動車）戦略見直しに伴う需要減少等の影響は解消されつつあり、上述のとおり工作機械需要は堅調に推移しているものの、中小企業を中心にソフトウェア投資に対する慎重姿勢が改善せず製品販売が低調に推移しました。また金型製造事業においては、既存顧客からの受注確保に向けた準備を行うとともに、新たな顧客開拓を目指し来期以降の売上につなげるための活動を行ってきました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、売上高は2025年10月にグループに加入したCAD/CAM開発企業の業績寄与により増収となり45億77百万円（前年同四半期比31.3％増）、利益面では依然として主力CAD/CAMシステムの需要が低調であることに伴い利益率が低下していることから、営業利益２億３百万円（前年同四半期比34.3％減）、経常利益２億63百万円（前年同四半期比26.0％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益１億４百万円（前年同四半期比56.8％減）となりました。事業セグメント別の概況は以下のとおりであります。

CAD/CAMシステム等事業

CAD/CAMシステム等事業では、引き続き主力製品であるCAD/CAMシステムの販売を推進し、また既存顧客に対するサポート体制の強化による保守収益の向上を目指し事業活動を継続しました。製品開発では、既存製品において定期的なバージョンアップ開発などの機能強化に取り組んだほか、付加価値向上のための研究開発を推進しました。製品販売では前述のとおり、当社の対象市場において設備投資に慎重姿勢が見られたことから低調に推移しました。一方海外における製品販売では、インドネシア、ベトナムでは伸び悩みましたが、自動車関連の需要によりタイでは堅調に推移しました。

また、保守売上は、既存顧客に対する充実したサポートを提供することにより、引き続き高い保守更新率を維持し、国内海外ともに堅調に推移しました。

これらの結果、CAD/CAMシステム等事業の売上高は39億62百万円（前年同四半期比44.8％増）、セグメント利益は１億16百万円（前年同四半期比35.4％減）となりました。

なお第４四半期以降、当社の対象市場におけるソフトウェア需要は、工作機械の更新需要から遅れて今後緩やかな回復基調で推移するものと見込んでおります。引き続きユーザーの生産性を高めるためのシステム提案を行うことで収益拡大に努めてまいります。

金型製造事業

当社の金型製造子会社が拠点を置く北米の自動車業界では、地政学リスクに起因する物価上昇等、一部不安定要素はあったものの、需要は堅調に推移しました。好調に推移した前年同四半期連結累計期間との比較では減収減益となりましたが、EV以外の需要継続により足元の受注環境は堅調を維持しております。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の金型製造事業の売上高は６億14百万円（前年同四半期比18.1％減）、セグメント利益は87百万円（前年同四半期比32.8％減）となりました。

なお第２四半期後半からEV以外の新規プロジェクトを推進していることから、当セグメントにおいては第４四半期の業績で当第３四半期連結累計期間までの減収減益をカバーできるものと見込んでおります。収益確保に向け今後も受注活動に注力してまいります。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度と比較して１億69百万円増加し、73億32百万円となりました。主な増加要因は棚卸資産１億３百万円および投資有価証券１億90百万円、主な減少要因は受取手形、売掛金及び契約資産１億１百万円であります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度と比較して１億73百万円増加し、37億78百万円となりました。主な増加要因は契約負債３億28百万円、主な減少要因は未払法人税等60百万円および退職給付に係る負債14百万円であります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度と比較して４百万円減少し、35億53百万円となりました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加１億４百万円、主な減少要因は配当金の支払いによる利益剰余金の減少97百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年２月13日付「2025年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,780,424	2,844,842
受取手形、売掛金及び契約資産	486,349	384,453
電子記録債権	212,704	159,197
棚卸資産	41,073	145,049
前払費用	453,586	517,509
その他	249,704	133,300
貸倒引当金	△477	△714
流動資産合計	4,223,365	4,183,638
固定資産		
有形固定資産	418,115	418,227
無形固定資産		
のれん	250,190	210,687
顧客関連資産	147,714	131,301
その他	21,145	9,784
無形固定資産合計	419,051	351,772
投資その他の資産		
投資有価証券	411,936	602,176
繰延税金資産	466,643	498,472
退職給付に係る資産	17,470	31,296
投資不動産（純額）	346,941	343,076
保険積立金	680,815	727,186
その他	181,660	179,373
貸倒引当金	△3,063	△3,121
投資その他の資産合計	2,102,404	2,378,461
固定資産合計	2,939,571	3,148,462
資産合計	7,162,937	7,332,101

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,121	97,474
未払法人税等	108,248	47,686
賞与引当金	15,469	86,270
契約負債	1,205,820	1,534,218
その他	460,595	330,239
流動負債合計	1,898,255	2,095,888
固定負債		
役員株式給付引当金	35,877	40,005
退職給付に係る負債	1,393,924	1,379,154
その他	276,761	263,511
固定負債合計	1,706,563	1,682,672
負債合計	3,604,819	3,778,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	114,318	114,318
利益剰余金	2,551,844	2,559,375
自己株式	△106,689	△106,689
株主資本合計	3,059,473	3,067,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,647	158,593
為替換算調整勘定	134,516	124,250
その他の包括利益累計額合計	303,163	282,843
非支配株主持分	195,480	203,692
純資産合計	3,558,117	3,553,540
負債純資産合計	7,162,937	7,332,101

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	3,486,577	4,577,455
売上原価	1,282,944	2,015,440
売上総利益	2,203,633	2,562,015
販売費及び一般管理費	1,893,643	2,358,416
営業利益	309,989	203,598
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,814	28,046
不動産賃貸料	71,999	72,075
その他	12,919	11,026
営業外収益合計	97,733	111,147
営業外費用		
不動産賃貸費用	50,366	50,730
その他	1,568	763
営業外費用合計	51,934	51,493
経常利益	355,787	263,252
税金等調整前四半期純利益	355,787	263,252
法人税、住民税及び事業税	118,171	120,792
法人税等調整額	△58,429	△32,385
法人税等合計	59,742	88,407
四半期純利益	296,045	174,845
非支配株主に帰属する四半期純利益	53,908	70,300
親会社株主に帰属する四半期純利益	242,137	104,544

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	296,045	174,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,829	△10,054
為替換算調整勘定	△15,586	△10,372
その他の包括利益合計	△60,415	△20,426
四半期包括利益	235,629	154,418
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,492	84,224
非支配株主に係る四半期包括利益	48,136	70,194

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
ソフトウェア	746,605	－	746,605	－	746,605
ハードウェア	132,573	－	132,573	－	132,573
初年度保守	172,503	－	172,503	－	172,503
更新保守	1,396,524	－	1,396,524	－	1,396,524
その他サービス	212,779	－	212,779	－	212,779
受託開発	75,459	－	75,459	－	75,459
金型請負	－	750,131	750,131	－	750,131
顧客との契約から生じる収益	2,736,446	750,131	3,486,577	－	3,486,577
外部顧客への売上高	2,736,446	750,131	3,486,577	－	3,486,577
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,736,446	750,131	3,486,577	－	3,486,577
セグメント利益	179,945	130,043	309,989	－	309,989

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
ソフトウェア	644,374	－	644,374	－	644,374
ハードウェア	366,790	－	366,790	－	366,790
初年度保守	175,938	－	175,938	－	175,938
更新保守	2,031,100	－	2,031,100	－	2,031,100
サブスクリプション契約	318,088	－	318,088	－	318,088
その他サービス	212,269	－	212,269	－	212,269
受託開発	214,353	－	214,353	－	214,353
金型請負	－	614,540	614,540	－	614,540
顧客との契約から生じる収益	3,962,915	614,540	4,577,455	－	4,577,455
外部顧客への売上高	3,962,915	614,540	4,577,455	－	4,577,455
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,962,915	614,540	4,577,455	－	4,577,455
セグメント利益	116,181	87,417	203,598	－	203,598

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

2025年10月１日に行われた株式会社ＮＤＥＳの株式取得について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当第３四半期連結会計期間に確定しております。これにより、「CAD/CAMシステム等事業」セグメントにおけるのれんの金額が減少しております。なお、詳細については、「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」に記載しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん、顧客関連資産を除く無形固定資産および投資不動産に係る償却費を含む。)、のれんおよび顧客関連資産の償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	53,827千円	75,148千円
のれんの償却額	－	39,503
顧客関連資産の償却額	－	16,412

（企業結合等関係）

（企業結合に係る暫定的な処理の確定）

2025年10月１日に行われた株式会社ＮＤＥＳの株式取得について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当第３四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第３四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額313,803千円は、会計処理の確定により50,445千円減少し、263,358千円となっております。のれんの減少は、顧客関連資産が153,185千円、繰延税金負債が54,273千円、非支配株主持分が48,466千円それぞれ増加したことによるものであります。また、前連結会計年度の連結貸借対照表は、主に顧客関連資産が147,714千円、利益剰余金が720千円、非支配株主持分が46,735千円それぞれ増加し、のれんが47,922千円、繰延税金資産が52,335千円それぞれ減少しております。前第３四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書への影響はありません。なお、のれんの償却期間は５年で、のれん以外に配分された顧客関連資産の償却期間は７年です。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

（追加情報）

（取締役に対する株式報酬制度）

当社は、社外取締役および監査等委員である取締役を除く取締役（以下、「対象取締役」という。）の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、対象取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、対象取締役に対する株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入しております。

(1) 本制度の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社が対象取締役に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて対象取締役に対して交付される株式報酬制度です。なお、対象取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として対象取締役の退任時です。

また、上記の当第３四半期連結会計期間末の負担見込額については、「役員株式給付引当金」として計上しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度64,073千円、200千株、当第３四半期連結会計期間64,073千円、200千株であります。